

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	34-3	
PDCA	主要事業名	全国山・鉾・屋台保存連合会 総会亀崎大会開催補助事業	部課名	教育部博物館	担当	鳥居	
				内線	23-7173		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 2 - 2 単位施策：文化の振興と継承 全体事業期間： 令和 4 年度 ~ 4 年度 全体事業費等： 3,000 千円 会計 一般会計 歳出科目： 09.05.01.04.54					目標項目（予算計上時に作成）  予算見積書で活用	
	事業概要等	事業概要： 国の重要無形民俗文化財に指定される山・鉾・屋台類の保存団体を正会員、保存団体の所在する地方公共団体を特別会員として構成される「全国山・鉾・屋台保存連合会」の総会事業に対し支援を行い、全国の持つ山車文化の保存継承のノウハウを得つつ、半田の山車文化や「はんだ山車まつり」を全国にPRする。					
		事業目的： 「亀崎潮干祭保存会」が運営の中心となって総会を開催するため、会場市として支援を行い、更なる山車文化保存継承を進める。					
		事業内容： 全国山・鉾・屋台保存連合会の総会を正会員が行うにあたり、会場市として総会の開催に必要な事業への補助を行う。					
		問題点・課題等： 総会は、連合会の正会員である保存団体が、連合会の会費と自己資金で順次行うことになりませんが、特別会員である会場市の支援が必要な状況である。					
	予算額	主要事業とする理由					
	3,000 千円	全国山・鉾・屋台保存連合会総会は、保存会所在地において、会場市の支援のもと順次開催するものであり、半田市において1度開催すると、今後開催の可能性が殆ど無くなるため、このタイミングで広くPRする必要のある事業になる。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	全国から多くの保存団体とそれを支援する地方公共団体が集まるため、これらの団体との交流を深めることが半田の山車文化の更なる発展につながる。					
	3,000 千円	目標値や目指すべき状態					
国費	参加団体から高評価を受け交流が促進されている						
0 千円							
県費							
0 千円							
その他							
0 千円							
D 実績値	決算額	得られた成果					
	3,000 千円	全国から多くの保存団体とそれを支援する地方公共団体が集まるため、これらの団体との交流を深めることができた。また、半田市制85周年及び令和5年10月に開催される第9回はんだ山車まつりを広くPRすることができた。					
		成果指標					
C 課題の整理	事業の評価・課題	<b>B</b> 国の重要有形民俗文化財及び無形民俗文化財指定を受けた祭礼団体等で構成する全国山・鉾・屋台保存連合会及び祭屋台等制作修理技術者会との共催で、山・鉾・屋台など山車・屋台類の保護思想の普及啓発並びに祭屋台等の制作修理技術の練磨と後継者の育成を図るとともに各委員の情報共有・意見交換などの交流を行い、地域文化の向上を目指すことを目的に、亀崎潮干祭保存会を中心に実行委員会が組織され、補助金を交付することで「全国山・鉾・屋台保存連合会総会亀崎大会」を盛大に開催することができた。					
A 課題の解決の方向性	今後の事業の方向性	<b>終了</b>					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない			
主要施策の成果報告書で活用  評価項目（決算時に作成）							